

年 組 () 名前

サイン

パンダ 竹食べて里山保全 白浜のレジャー施設

和歌山県白浜町のレジャー施設・アドベンチャーワールドは「循環型パーク」の実現に力を入れている。

たとえば、飼育するジャイアントパンダ6頭が主食とする竹。その調達場所は繁殖しすぎて環境悪化が心配されている大阪府岸和田市の竹林だ。パンダが好きな竹を食べることで地域の里山保全に貢献する。

1頭が1日に食べる竹は20～30キロ＝写真＝。主に葉を好むため、幹が残るのも課題だ。去年はこれを活用しようとスタッフが竹灯籠をつくり、パーク内で火をともして展示するイベントも開催した。将来的には食べ残しの竹を工芸品や燃料に活用することを目標としている。



【1】竹はどんな植物ですか。知っていることをかきましょう。

[]

【2】パンダについて知っていることをかきましょう

[]

【3】竹で工作するとしたら、どんなものを作りたいですか。



[]

◆和歌山県白浜町のレジャー施設
にいるパンダたちは、竹を食べるこ
とで里山を守っています。

(2020年2月9日
大阪読売新聞朝刊より)





寒さ足りない冬 困った

雪まつり中止に

雪が降らない、気温が下がらない……。その影響で、各地の観光イベントが次々と中止に追い込まれています。
新潟県南魚沼市で1951年から続く「南魚沼市雪まつり」。70回目となるはずだった今年、初めて中止になりました。会場の魚野川河川敷周辺には普段なら2メートルほどの積雪があるそうですが、今年はほとんどないそうです。観光協会の植田智徳さんは「雪がなくても開催できるイ

◆暖冬で雪が降らなかったため、新潟県など各地では観光イベントが中止になる影響が出ました。



イベントを考えなければならぬ時が来ているのかもしれないと残念そうに話していました。
鳥取県のスキー場も雪不足に悩んでおり、若桜町のスキー場では1月19日、矢部康樹町長も参加して降雪を願う「雪ごい」の神事が行われたほどです。

(2020年2月6日 読売KODOMO新聞より)

【1】新潟県について知っていることを書きましょう。また、どこにあるか地図を使って調べましょう。

【2】暖冬の原因について、図や記事を読んで説明しましょう。



偏西風 寒気をブロック

暖冬の原因は、日本付近の上空を流れている偏西風（「時事ワード63」）が、例年より北寄りに曲がって流れていることです。日本に寒さをもたらすのは、ロシアのシベリアからやってくる寒気です。でも今年は偏西風が北寄りに流れているため、寒気が日本までやってこず、気温が下がりがりません。東日本と西日本では1月の平均気温が平年を2.5度以上上回り、1946年に統計を取り始めて以来最高に。降雪量も日本海側全域で、1961年の統計開始後、最も少なかったという記録の暖冬です。

【発展問題】あなたの住んでいるところや近くの地域では、暖冬の影響でどのようなことがありましたか。裏に書きましょう。



食品ロス 児童が削減

★★★

年 組 () 名前

サイン

◆ 国連が採択したSDGs(持続可能な開発目標)の達成に向け、各地で様々な取り組みが始まっています。
(2020年2月9日 大阪読売新聞朝刊より)



規格外の野菜や果物

食品ロス 児童が削減

目標12「つくる責任 つかう責任」の中には「世界全体の1人当たりの食料廃棄を半減させる」とのターゲットがある。SDGsの実践として地域と連携し、食品ロス削減に取り組む学校が徳島県にある。上板町立高志小は、通学路のあちこちにニンジン畑が広がる。児童や教諭らは、小さかったり一部欠けたりして流通に適さない規格外のニンジンが残されている

のを見てきた。「まだ食べられるものを大切にすることを考えよう」。そんな思いから授業の一環で2017年度に活動を始めた。JAや町内の生産者の協力を得て、出荷されることのないニンジンやブロッコリー、桃を児童らが収穫。県内の食品加工会社でみじん切りやペーストなどに加工して、町の給食センターへ。

収穫したニンジンが町内の幼稚園や小中全約1000人の給食になった。さらにセンターで出た野菜の皮や芯を地域内の養豚場でえさに使ってもらったことを児童が提案、実現できた。「子どもたちは食事を残すこともなくなった」と武田国宏校長。輸送によるCO₂排出を削減できる地産地消は、目標13「気候変動対策を」にもつながる。(徳島支局 新谷諒真)



食品ロスの削減 地産地消を推進

4 8 12 13 17
数字と色は貢献できる目標

養豚飼料

(写真はいずれも高志小提供)



給食

町内の幼稚園 小中学校



【1】高志小は、食べられるものを大切にするために、どんなことを考えたでしょうか？

【2】高志小は、どんな人たちと連携しましたか？

【3】食べ物の無駄を少なくするために、どんなことが出来るでしょうか？



年 組 () 名前

サイン

高校産食材も「出場」へ



五輪で使われる食材は、各都道府県から送られてきたリストを基に大会組織委員会側

と、基準となつている国際認証グローバルGAP(ギャップ)を取得する農業高校が全国で増えている。農林水産省によると、2年前の4倍以上の22校に急増。手塩にか

けた果物やコメが選手村の食材に選ばれば、地元食材や高校の活動を国内外にアピールする絶好の機会となり、生徒たちの期待も膨らんでいる。

東京五輪・パラリンピックの出場選手に食材を提供しよう

が選択。選手村での食事のほか、大会会場の売店などで提供される。

農水省によると、昨年12月末時点で取得報告があった高校は、青森や茨城、京都、福岡など14道府県の22校。2018年3月末の5校、19年3月末の20校から増加を続けている。

青森県平川市にある県立柏木農業高校は1月末、「ふじ」や「王林」、「ジョナゴールド」といった県特産のリンゴでGAPを取得した。同校「りんご研究部」の2、3年生計11人が、地元根付いたリンゴ栽培の理解を深めてもらおうと、昨春から取得の準備を



◆自分たちの作った食材を五輪選手に提供しようと、基準になつている国際認証を取得する農業高校が増えています。

(2020年2月20日 読売新聞夕刊より)

グローバルGAP 食品安全や環境配慮などの基準を満たした生産者に与えられる欧州発祥の国際認証。GAPはGood Agricultural Practice(よい農業の実践)の略。

進めてきた。「農業を適切温度で保管しているか」「害虫数をチェックして駆除する手順はあるか」。生産工程や道具の管理など200以上の厳正な審査項目をクリアするため、週2回の部活で試行錯誤を繰り返した。リコール対応も審査されるため、回収方法などをまとめた資料も作成。審査直前には質疑応答の練習も毎日行った。

※農林水産省の資料をもとに作成

取得した主な高校と食材

青森県立五所川原農林高校	リンゴ、メロン、ジャガイモなど
茨城県立 真壁高校	シャインマスカット
栃木県立 真岡北陵高校	コメ
京都府立木津高校	荒茶
愛媛県立 南宇和高校	河内晩柑、甘夏
福岡県立 福岡農業高校	トマト

グローバルGAPの認証を受けたリンゴを前に笑顔を見せる県立柏木農業高校の生徒たち(青森県平川市)

【1】基準となつている国際認証は何と言いますか。名前と、意味を書きましょう。

【2】選手村の食材に選ばれることで、どんな効果がありますか。書きましょう。

【発展問題】あなたの住んでいる地域の、どんな食材を五輪の選手たちに食べてもらいたいですか。裏に書きましょう。

